

平成26年度第1回

(2014年度)

吹田市景観まちづくり審議会

日時 平成26年6月17日(火)午後3時

場所 吹田市立博物館2階 講座室

平成26年度第1回吹田市景観まちづくり審議会会議録 (要点筆記)

1. 開 会

○武田都市整備室参事

2. 挨拶

○野上都市整備部長

3. 会議進行

○鳴海会長 本日、傍聴者はおられますか。

○武田都市整備室参事 本日1名の方が傍聴に来られております。

○鳴海会長 吹田市景観まちづくり審議会の傍聴に関する取扱い要領により、傍聴していただきます。

《傍聴者入室》

○鳴海会長 それでは、事務局より本日の案件について説明をお願いします。

4. 案件説明

市内の開発等動向について

今年度の取り組み予定について

○亀川都市整備室主査 《内容説明》

5. 意見・質疑

○A 委員 資料を事前に送ってほしい。今この場で見て説明を受けただけではわかることも限られる。

○亀川都市整備室主査 今後気をつけ、事前に送付させていただく。

○B 委員 本日視察した南高浜町周辺について今後景観の評価をしていくとのことだが、参考資料17ページに、高浜町で建築協定締結との記載がある。それと南高浜町との関連性について教えていただきたい。

○清水都市整備室主査 高浜町の建築協定については、歴史的なまち

なみを維持・保全するというよりは、いろいろな開発の圧力がある中で、高さについて一定のルールづくりをしようと取り組まれ、その結果として建築協定を締結されたと聞いている。

- C 委員 無電柱化の取り組み、今年度の具体的な計画というのは特になのか。
- 清水都市整備室主査 府道関連では、大阪高槻京都線等が無電柱化の事業をされている。また、千里山駅周辺の都市計画道路千里山佐井寺線については、道路部局が事業を進めている。既存街区の無電柱化については今のところ予定はないが、今後の検討課題と考えている。
- D 委員 今年度に重点地区と景観重要建造物の指定に向けて考えているとのことだが、特に建物については所有者の理解が不可欠だと思うが、どういった形で進めていくのか教えていただきたい。
- 亀川都市整備室主査 今年度の取り組みとしては、南高浜町、内本町周辺について重点的に入っていこうと考えている。ルール化に向けて広く取り組んでいくというのも1つあると思うが、指定の意向を持っている所有者に直接アプローチしていくことも必要だと考えている。今後そういった情報も収集しながら働きかけをしていこうと考えている。
- 鳴海会長 こういった取り組みは吹田市では初だと思うが、他都市の先進事例を参考にしながら取り組んでいったりはしないのか。
- 亀川都市整備室主査 昨年度に施策の振り返りをする中で、先進事例についても調査し、一定の整理をした。ただ、観光や商業目的での事例が多く、当該地区にはあまり当てはまらないと考えており、類似の事例を探すのはなかなか困難だが、例えば、伊丹市や茨木市の類似すると思われる地区に今後取組みについてのヒアリングを行っていこうと考えている。
- 久副会長 歴史的まちづくりの検討は何年勝負で考えているか。
- 亀川都市整備室主査 かなりの期間を要するものだと考えているが、個人的意見だが、約2年で一定の方向性を出したいと考えている。
- 久副会長 あまり焦りすぎない方がいい。補助金のタイミングやストーリーの作り方は慎重に考えるべき。例えば、八尾市の寺内町は現在も景観形成地区になっていない。以前からまちなみ改修の補助金の交付や道路整備を行っているが、それらは地元の気運が高まる前に行っている。そうなら

ないようタイミングを考えて支援していくストーリーを作っていくことが重要。内本町や南高浜町は、しばらくはソフト事業で気運を醸成していくのがいいのかなと思う。また、茨木市では昨年度から町屋の改修・活用に補助金を出している。それは商業・まちの活性化事業と関連していて、この地区も都市整備室だけで走らず、産業部局等と連携して時間をかけて取り組んでいていただければ。

- 清水都市整備室主査 景観行政を継続的に取り組んでいかなければならない中で、景観に係る予算が削減されてきている。その中で力を入れ、外部に成果をきちんと示していくことが重要だと考えており、そういった意味でこの2年が勝負と考えている。きっかけとしては、先ほども紹介したが、小学校や啓発活動と併せて進めていきたいと考えている。また、本日も出席している文化財保護課もそうだが、関係部局と連携を図っていきたい。例えば、文化財に指定できない建築物を景観で指定するなど、タイアップしながら進めたい。
- A 委員 学校教育の中で、もっと子供たちに自分のまちの歴史を教える取り組みをすべき。例えば、奈良は歴史教育によく取り組んでいると聞く。
- 桑田文化財保護課総括参事 博物館では、12月～3月に小学3年生を対象に、「昔の暮らしと学校」というテーマで、当時の暮らしなどの実体験をしてもらう取り組みを行っている。また、旧西尾家住宅でも、「伝統文化こども教室」ということで月1回程度、小中学生を対象に体験してもらっている。
- A 委員 もっと学校単位で、教育の一環ですべき。
- 久副会長 南高浜や内本町周辺は地元の方々と一緒になって取り組んでいくことが重要だと思う。
- 鳴海会長 資料2-1の今年度の主な取り組み予定に、「公共施設における景観の質の向上に向けて」とあるが、例えば博物館について、アクセスの改善や親しみを持てる環境を作り、市民がここに来たいと思えるような取り組みをしてほしい。
- A 委員 説明のあった高野台や佐竹台の開発に関連してだが、吹田はヒートアイランド現象で夜も熱い。吹田は緑が少ないように感じる。落葉樹ばかりでなく常緑樹を増やす取り組みをしてほしい。ヒートアイランド

に効果のある施策を。また、樹木で信号が見えない場所がある。人命に関わることであり事故が起こってからでは遅いので、対策を行ってほしい。

○清水都市整備室主査 指摘のあった点についても、関係部局と連携しながら景観まちづくりを進めていきたいと考えている。

○鳴海会長 他に意見がないようなので、以上で本日の審議会を終了する。

6. 閉会